

箱根組ニュース

第356号 2022年 12月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

晩秋の紅葉の中、九鬼山から大月駅に向かって馬立山、菊花山のアップダウンを堪能する。

11月20日(日)、9月に台風の中、単独で登った九鬼山ロングコースを、今回は佐藤さんと二人で楽しみました。名残の紅葉がきれいでした。

京王線新宿駅発6時9分の急行高尾山口行きに乗車。高尾6時59分着。JR中央本線7時6分発の甲府行きに乗り換え、大月駅に7時42分着。7時55分発の富士急行線河口湖行きに乗り換える。

天気予報は一日雨という情報だったが車窓からは青空も見えている。

8時4分、禾生駅に到着。無人の改札駅を抜ける。空気はひんやりとしている。駅横でストレッチをする。

8時10分、歩き出す。富士急行線の踏切を背にして信号を左折。左側に禾生郵便局がある。正面奥にはリニア実験線のガードが見えている。トリアマート半額専門店がある。ちよつと寄ってみたいが通過。その奥にはこれから向かう尾根が見えている。

8時20分、右側に看板、都留市天然

温泉、都留戸沢の森、「和みの里」、芭蕉「月待の湯」とある。5,5キロほど右に行ったところのようだ。和風コテージ「一位の宿」とも書いてある。

左側には赤い鳥居が見える、天神と書いてあるようだ。

正面の高いところに只今の気温8度と電光板が示している。右側にヨーロッパのような風情の水道橋。正面のリニアとは対照的だ。

8時26分、右に「九鬼山」登山口の標識があり、これを鋭角に右に曲がって入ってゆく。水道橋をくぐって左に曲がる。民家の前にシュウメイギクが咲いている。

8時30分、分岐、右は杉山新道、左は愛宕神社コース。どちらも山頂に向かう道だが左方向の少し短いコースを選ぶ。左方向リニアモーターカーのガードの向こうは山並みに雲がたなびいて美しい景色だ。

8時2分、標識に従って右に曲がってゆく。すぐに愛宕神社が左側に現れる。



階段の下で無事を祈って手を合わせてから山道に入ってゆく。落ち葉が厚く積もっていて気持ちがいい。9月の単独の時はこの山道が沢のようになっていたのが信じられない。植林地の間をじわじわと高度を稼いで登って行く。自然林になると名残の紅葉の赤が目立ってくる。他の木々はほとんど葉を落としているのに楓の類だけが美しい色を出している。緑から黄色そして赤へグラデーションが鮮やかだ。

9時18分、尾根に出る。左方向は田野倉駅からのルート、右が山頂方向だ。小休止。

9時30分、出発。尾根はだんだんと傾斜がきつくなってくる。

9時35分、「これより急坂、要注意」の看板、その通りかなりの傾斜になってくる。じっくりと登って行く。

収支	
繰越収入	23205 円
支出	0 円
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	200 円
現在高	25005 円

9時56分、「眺めよし天狗岩」の看板がある。3分とあるので右に入っただけ。2分ほどで岩に着。谷の方に突き出した感じの岩がある。岩

に乗ると絶景が待っていた。雨予報で期待していなかっただけに感動が大きい。右に三つ峠、河口湖方面へ向かう街道の街並みを挟んで左側には、山頂こそ隠れていたがその偉大な姿の富士山が水彩画のような景色の主役として立っていた。見飽きない風景だった。

元のルートに戻る。またきつい尾根を右に登って行く。

10時21分、右方向の高畑山から左の九鬼山へつながる尾根に出る。左へ行けば山頂はまもなくだ。

10時24分、九鬼山に着。富士はだいぶ隠れていて山頂と下の部分は見えなくて中腹部分だけが確認できた。一方北方向は青空も見えてよく見えた。大菩薩やその奥の雲取山らしき姿も確認できた。

地図を見るとリニアの実験線はこの山頂の真下を通っているようだ。

さて下山、そして、大月駅を目指す少し長いアップダ

12月18日(日) 飯能河原芋煮忘年会です。
らくだコース 歩行1時間
飯能駅から飯能河原まで歩きます。河原で芋煮と焚火を楽しみます。

※お弁当は要りません。芋煮とうどんを作ります。

○持ち物 芋煮材料(分担)、ポットにお湯、食器、箸、カップ、飲料水、非常食、マスク(予備マスク)、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 12月16日(金)

申し込みの時に芋煮の分担をお知らせください。

※参加人数で分量調整が必要、前日土曜日に掲示板で人数を確認してください。

芋煮材料(里芋、こんにゃく、うどん、長ネギ、しめじ、舞茸、焼き豆腐、ごぼう、牛肉、麵つゆ)

集合 12月18日(日)
西武池袋駅 8:00 発 急行飯能行き
(前から3両目車内)

途中駅発
石神井公園 8:11 ひばりヶ丘 8:16
所沢 8:24 西所沢 8:28 小手指 8:30
狭山ヶ丘 8:33 武蔵藤沢 8:35
入間市 8:39

飯能 8:48 着
交通費 池袋～飯能 片道471円

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



ウンのはじまりだ。まずは少し急な下りだ。急な下りが終わると道は左に回り込むようにして谷を右方向に超えてゆく。これから進む方向の尾根が黄金色の美しい紅葉になっている。少し平坦になると広い場所に出る。落

ち葉がいっぱい「紺屋の休場」と思われるところで休憩。看板はなかった。

1 1時33分、分岐。左は田野倉駅へのルート。尾根を直進して札金峠へ向かう。美しい紅葉の尾根を緩やかに下ってゆく。

1 1時45分、札金峠。鞍部になっていて谷間の峠という感じだ。ここで早めの昼食。少しだけビールで乾杯し、お湯を沸かしてインスタント味噌汁。仕上げはドリップコーヒーだ。気温が低いのでお湯をたっぷり沸かしながら暖を取る。

1 2時半、出発。いきなりの登りで息が上がる。704mのピークを越えると少し下りまた急な登りが長く続く。

1 1時8分、尾根に出る。尾根を右に進み最後のひとのぼりでピーク。

1 1時20分、馬立山到着。岩の尾根を下ってゆく。また登ると次のピーク。

1 1時39分、沢井沢の頭着。下ってゆく。

1 1時42分、分岐。右、御前山、猿橋駅方面。左、菊花山から大月方面。左へ進む。右側が谷に落ち込む斜面を足元の落ち葉に気をつけながら慎重に下る。

沢井沢の頭から標高で200mほど下ってゆく。鞍部に着いたあたりで雨が落ちてくる。ここでカッパの上下を着る。ここから菊花山へ向かう。じわじわと



上り下りを数回繰り返して小さな戸倉三山のような山。

2 1時41分、岩の菊花山に到着。雨は落ちていますが、百蔵山や扇山は確認できる。そして下ってゆく。

3 1時9分、目の前に甲州街道のバイパスが現れる。大月の町が目の前だ。

3 1時35分、大月駅に到着。駅のトイレで着替えて、駅前の居酒屋に落ち着く。美味しいビールで乾杯し、ぬる燗とともに話が弾んだ。

